

伊丹市×荒木 村重 = 村重プロジェクト



村重プロジェクトとは？



村重プロジェクトとは、映画『黒牢城』やNHK大河ドラマ『豊臣兄弟！』をきっかけに、伊丹ゆかりの戦国武将・荒木村重を通じて、有岡城跡をはじめとする伊丹の歴史や魅力をみんなで市内外へ発信する取り組みです。

有岡城跡とは？



有岡城跡は、猪名川の西岸、伊丹段丘（だんきゅう）東縁部の一角に位置します。もとは伊丹氏が南北朝時代から戦国時代にかけて伊丹城を築いていたところです。

天正2年（1574年）11月、織田信長の武将荒木村重は、伊丹氏にかわって伊丹城に入城しました。そして城の名を有岡城と改めて大改造をおこないました。城だけでなく、侍町と町屋地区をも堀と土塁で囲んだ惣構（そうがまえ）の城としての価値を認められ、昭和54年12月に国の史跡に指定されました。（昭和63年5月追加指定）

（※引用元：伊丹市ホームページ）



荒木村重とは？



戦国時代の武将。池田家臣から台頭し、天正2年（1574）伊丹氏を追放し、伊丹城を「惣構」の有岡城へと大改革しました。天正6年（1578）、それまで信長の主力武将であった村重が、突如信長に反旗を翻し、約1年に渡って籠城しました。村重は有岡城を脱出して、嫡子・村次のいる尼崎城へ入り戦況の打開に努めますが、内通者により有岡城は落城、荒木一族・家臣は処刑されました。引き続き村重は花熊城へ移り戦いますが敗戦し毛利氏を頼り西国へ逃れました。その後、村重は剃髪し、道薫と号し、信長の死後は帰阪して、「御伽衆」の一人として、秀吉に仕えました。



（※引用元：伊丹市埋蔵文化財マップ）



お主もこの歴史に加わらぬか？

村重たみまる

村重プロジェクト
特設ページ

